

令和5年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

茂原市教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法（学校名：茂原市立豊岡小学校）

6年社会科「子育て支援の願いを実現する政治」

茂原市では、郷土を愛する心を育成する「茂原学」を教科等に位置付け、取り組んでいます。

6年生は、社会科の学習で、「市の子育て支援」について各自がテーマを決め、タブレットを使って検索、プレゼンをまとめ、電子黒板を通して発表をしました。自分たちの生活、成長が市の子育て支援によって支えられていることに気づくことができました。

メリット

- ・日頃使っている自分のタブレットを活用して、調べる→まとめる→発表する、と一連の学習をすることができ、自ら学ぶ方法を身につけることができました。
- ・大型のスクリーンはとても見やすく、見る方も興味を持ち見ることができます。また、自分で作った資料を使い発表することで、自信をもって発表することができました。
- ・字を書くことや、絵を描くことが苦手な児童でも、タブレットによって提示資料を作ったので、見てもらいたいという気持ちをより強くもつことができました。



2. 中学校の学習における活用方法（学校名：茂原市立早野中学校）

タブレットPCを活用しやすくする工夫

① 取り組み

タブレットPCをA4書類ケースに入れた状態でトートバックに収納し、学習場所に常に携帯する。

② 導入の意図

生徒たちが学習の道具としてタブレットPCを最大限活用するためには、いつでも使いたいときに手元にある状態を作る必要があると感じたため、導入した。

③ 効果

- 学習時いつでも活用できる状態にあるため、授業でICTを活用するハードルを下げる事ができた。
- タブレットが身近にあることで、生徒自身が活用方法やネットリテラシーを考える端緒となった。

A4書類ケース



トートバック

